

学校感染症届出書 提出のお願い

学校において予防すべき感染症にかかった場合には、学校保健安全法第19条に基づき、欠席ではなく「出席停止」となります。お子様が以下の感染症にかかったと思われる場合は、必ず医師の診断を受けてください。感染のおそれがなくなり登校できるようになりましたら、保護者の方が「学校感染症届出書」に必要事項を記入し、学校へご提出ください。

これは、学校における蔓延予防の対策でありますのでご理解ください。

学校において予防すべき感染症						
第1種		エボラ出血熱 クリミア・コンゴ出血熱 痘そう 南米出血熱 ペスト マールブルグ病 ラッサ熱 急性灰白髄炎 ジフテリア 重症急性呼吸器症候群（ベータコロナウイルス属S A R Sコロナウイルスに限る） 中東呼吸器症候群（ベータコロナウイルス属M E R Sコロナウイルスに限る） 特定鳥インフルエンザ（血清亜型が H5N1, H7N9 に限る）				
第2種		インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く） 百日咳 麻しん 流行性耳下腺炎 風しん 水痘 咽頭結膜熱 新型コロナウイルス感染症 結核及び髄膜炎菌性髄膜炎				
第3種		コレラ 細菌性赤痢 腸管出血性大腸菌感染症 腸チフス パラチフス 流行性角結膜炎 急性出血性結膜炎 その他の感染症				

R5.5.8 施行

学校感染症届出書

三重県立神戸高等学校長様

年 組 席 名前 _____

【病名】 _____ ※受診した医療機関に確認してください

【出席停止期間】 年 月 日 ～ 年 月 日まで

【受診した医療機関名】 _____

年 月 日

保護者名 (自署) _____

学校で予防すべき感染症の種類及び出席停止期間の基準に関する資料

	対象疾病	出席停止の期間の基準
第1種	エボラ出血熱 クリミア・コンゴ出血熱 痘そう 南米出血熱 ペスト マールブルグ病 ラッサ熱 急性灰白髄炎 ジフテリア 重症急性呼吸器症候群 (SARS) 中東呼吸器症候群 (MERS) 特定鳥インフルエンザ	治癒するまで
第2種	インフルエンザ (特定鳥インフルエンザを除く) 百日咳 麻しん 流行性耳下腺炎 風しん 水痘 咽頭結膜熱 新型コロナウイルス 結核及び髄膜炎菌性髄膜炎	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで 特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで 解熱した後3日を経過するまで 耳下腺、頸下線又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで 発しんが消失するまで すべての発しんが痂皮化するまで 主要症状が消退した後2日を経過するまで 発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで
第3種	コレラ 細菌性赤痢 腸管出血性大腸菌感染症 腸チフス パラチフス 流行性角結膜炎 急性出血性結膜炎 その他の感染症	病状により、学校医その他の医師において感染の恐れがないと認めるまで

- * 新型コロナウイルス感染症については、病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。